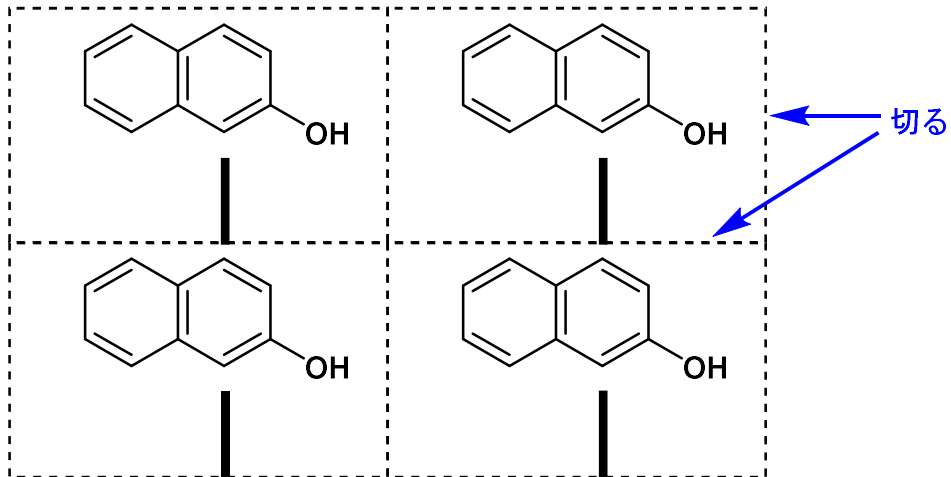
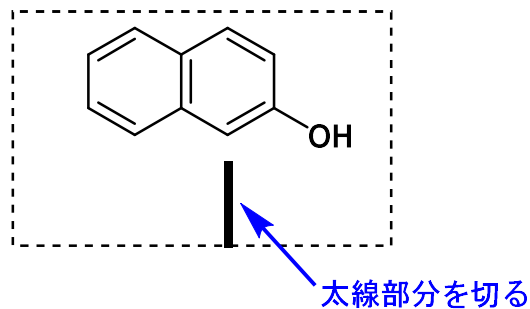


不斉ペーパークラフト作成方法

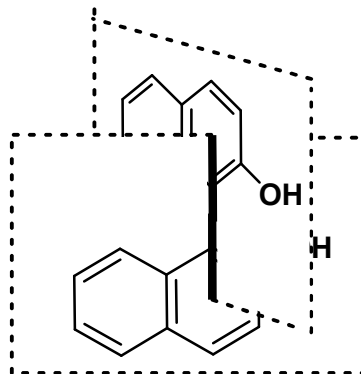
- ① 不斉ペーパークラフト用 ChemDraw ファイルを開け、File → Page Setup... で A4・縦に設定し、また Document Settings... で Document Size を Height: 2 pages, Width: 1 page に設定する。その後、A4 両面印刷する。
- ② 破線に沿ってハサミで切り、各ピースに分ける。



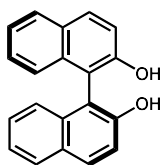
- ③ 太線部分にハサミで切り込みを入れる。



- ④ 2つのピースの切り込み部分を差し込み合う。

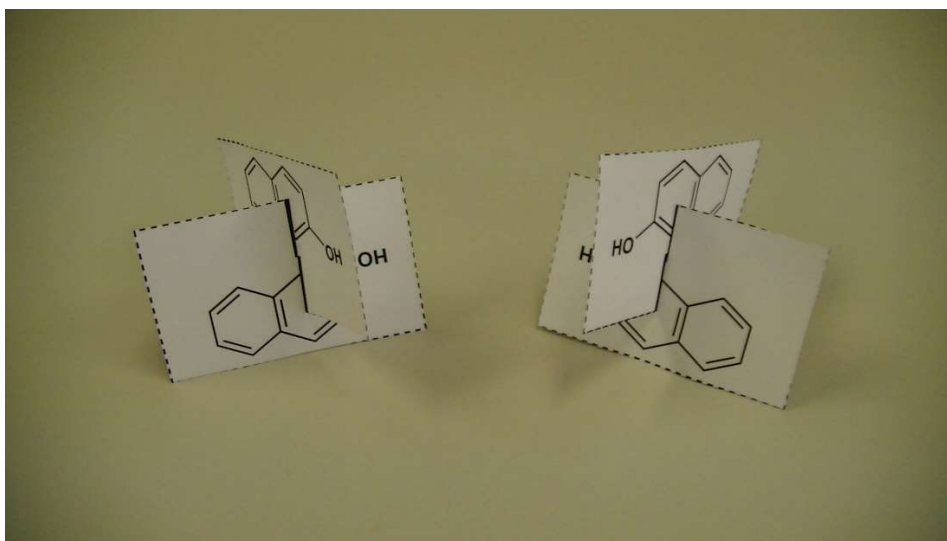


◆ ビナフトール

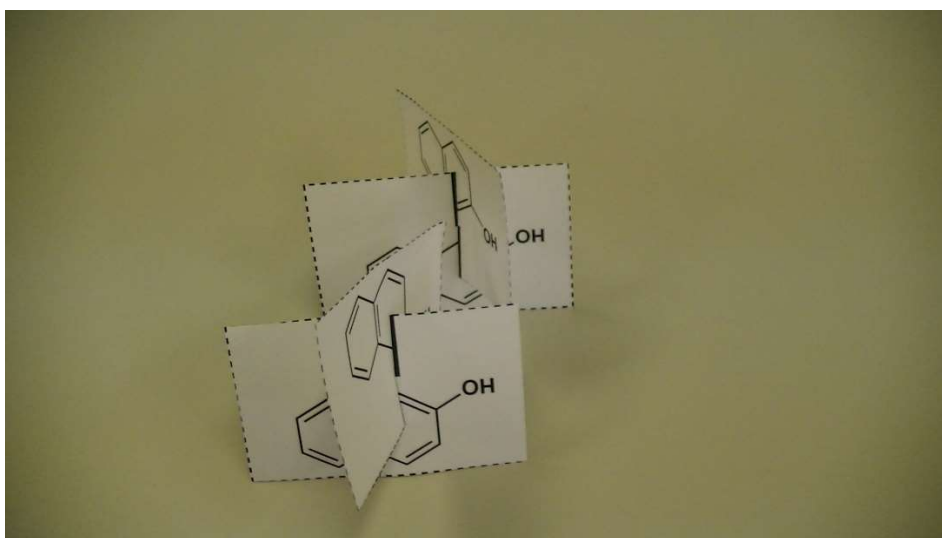


軸性キラリティーをもつ化合物。

立体障害により、炭素-炭素単結合が回転できないため、キラリティーが生じます。

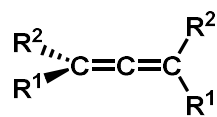


左側が *R* 体、右側が *S* 体です。



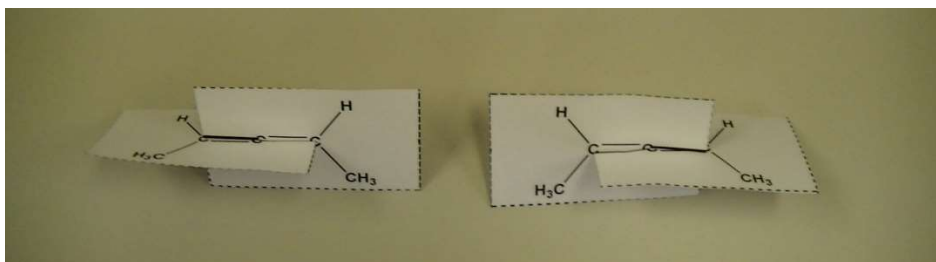
両者を重ね合わそうとしても、重ね合わせることができません。つまり、キラルな化合物です。

◆ アレン

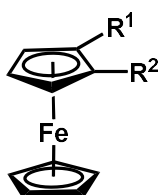


軸性キラリティーをもつ化合物。

2つの sp^2 炭素部分の平面が直交しており、 $R^1 \neq R^2$ ならキラリティーが生じます。

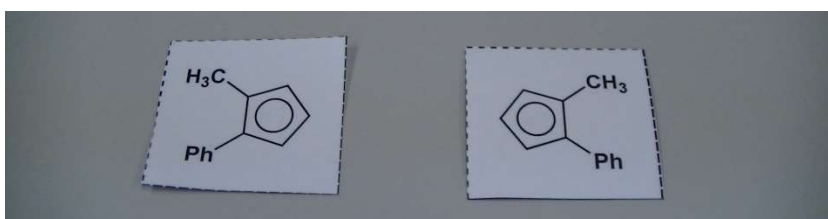


◆ フェロセン



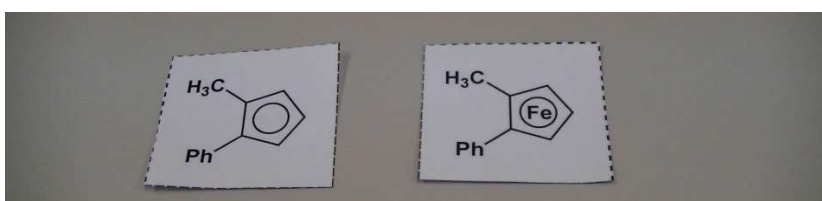
面性キラリティーをもつ化合物。

$R^1 \neq R^2$ ならキラリティーが生じます。

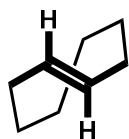


分子を上から見た状態です。

CH_3 と Ph を重ね合わそうとして裏返すと、 Fe が付いた面になってしまい、重ね合わせることができません。

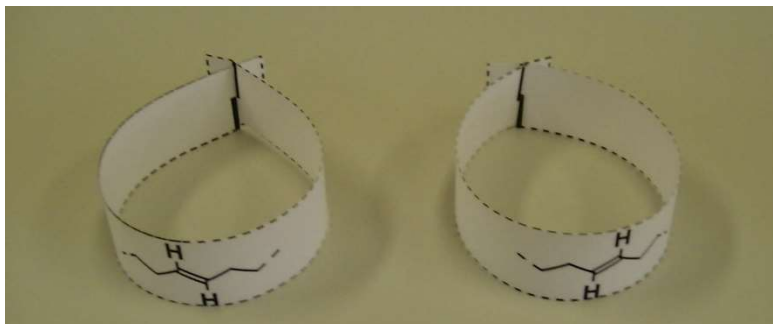


◆ トランス-シクロオクテン



面性キラリティーをもつ化合物。

二重結合の平面部分が、8員環に対して垂直方向に立っており、キラリティーが生じます。



筒状になっている環を無理やり裏返すと、逆のエナンチオマーに変わります。このような変換過程は速くないため、それぞれのエナンチオマーを別々のものとして単離することが可能です。

